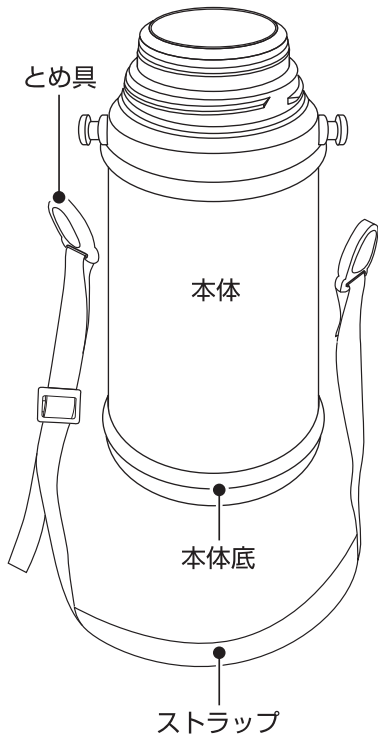


取扱説明書

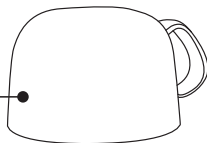
DKBA-600

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は家庭用です。飲料物の保温、保冷以外には使用しないでください。また、業務用としてのご使用はしないでください。ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。



コップ

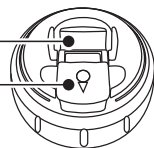
コップ



せんユニット

フタスイッチ

フタ



<フタオープン図>



フタパッキン

注水口



注水口パッキン



せんパッキン



※お買い上げ時は装着済みです

《注意》パッキンが確実に装着されていることをご確認ください。

説明書中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。

また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

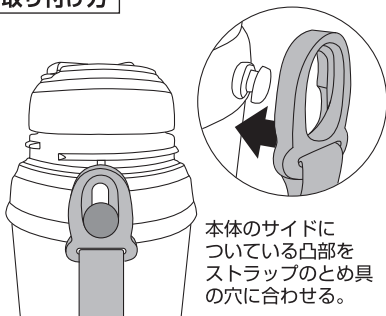
ご使用方法

■ご使用になる前に

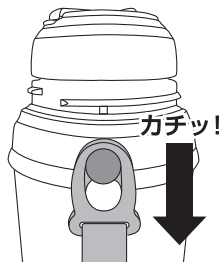
- はじめてご使用になる前に、本体の傷・凹み、せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけてスポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または当社お客様相談室までご連絡ください。

■ストラップの取り付け方・はずし方

取り付け方

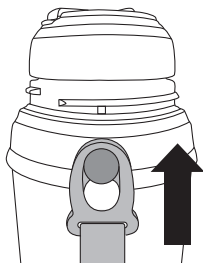


とめ具をカチッ!という音がするまで矢印の方向に差し込みます。



はずし方

とめ具を取り付けるときと逆方向に押し外します。



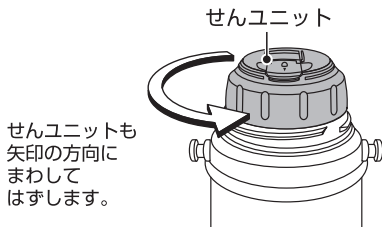
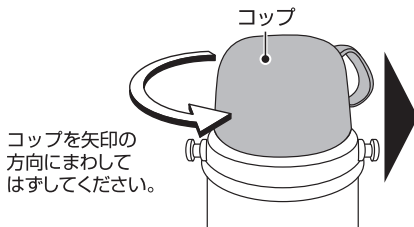
注

本体を洗う際は、必ずストラップをはずしてから洗ってください。

ご使用方法

■飲み物を入れる

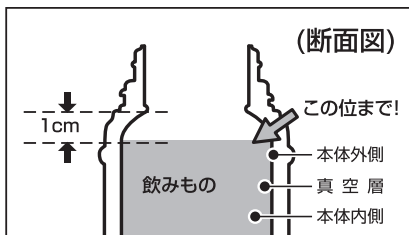
1 コップとせんユニットをはずします。



2 飲みものを入れます。

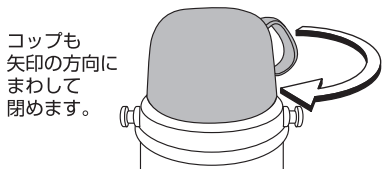
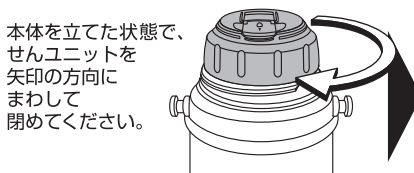
飲みものの量は右記図の位置までにしてください。入れすぎると、フタスイッチ操作が固くなったりせんユニットを閉めるとき、中身があふれることがあり危険です。

本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



※注水口パッキン・フタパッキン・せんパッキンは必ず正しく取りつけているか確認をしてください。

3 せんユニットとコップを閉めます。



※せんユニットとフタが確実に閉まっていることを確認してください。

※コップが確実に閉まっていることを確認してください。

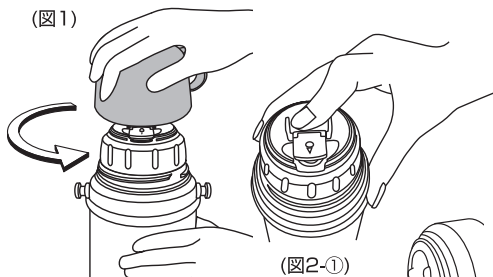
注 せんユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ヤケドやものを汚す原因になります。

ご使用方法

飲み物を注ぐ

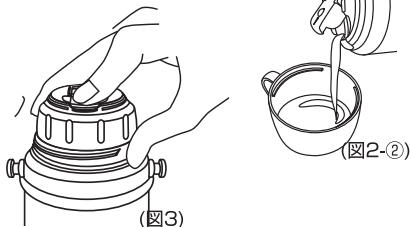
1 飲みものを注ぎます。

1. 本体を立てた状態で、本体を押さえて、コップを矢印方向にまわしてはずします。(図1)



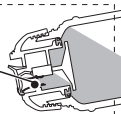
2. フタスイッチを押して、フタを開き(図2-①)、飲みものをコップに注ぎます。(図2-②)

注 フタスイッチが固くて押せないときは、無理やり下げないで一度せんユニットをゆるめて、フタスイッチを指で押し下げ、フタを開けたまませんユニットを閉め直してください。



3. フタを押してせんユニットのフタを閉じます。(図3)

注 本体を傾けた状態でせんユニットのフタを閉じないでください。注水口に少量の水が残りが、せんユニットに水滴が残る場合があります。



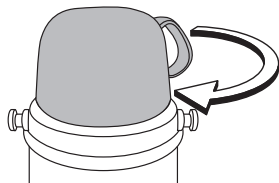
4. コップに口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲みます。(図4)

(図4)

注 熱い飲みものを入れた場合は、ヤケドにご注意ください。

2 飲み終わったら。

コップの中の水分が残らないようにし、本体を立てた状態で、せんユニットとフタがしっかり閉まっていることを確認し、コップを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。閉めた後は、コップが確実に閉まっていることを確認してください。



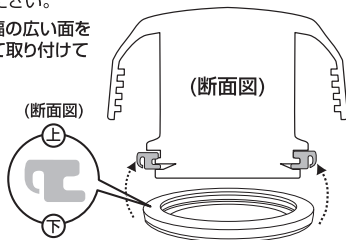
パッキンの取り付け方・はずし方

■ せんパッキンの取り付け方・はずし方

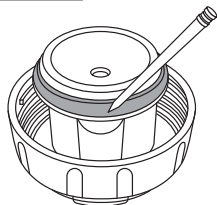
取り付け方

上下の方向を確認し、せんユニットに正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

※パッキンは幅の広い面を上向きにして取り付けてください。



はずし方

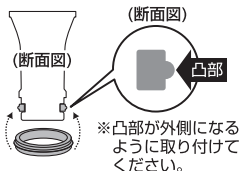


つまようじなどでせんユニットの溝部より外してください。パッキンを破損しないように注意してください。

■ 注水口パッキンの取り付け方・はずし方

取り付け方

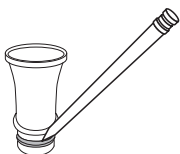
注水口の正確な場所に取り付けてください。



※凸部が外側になるように取り付けてください。

はずし方

つまようじなどで注水口の溝部より外してください。



注水口のはずし方

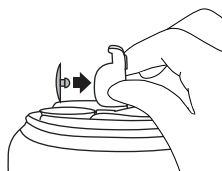
フタスイッチを押し、フタを開けて、注水口をつまんで上へ引き上げます。



※注水口パッキンに上下はありません。

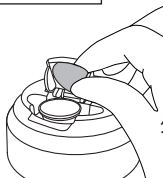
■ フタパッキンの取り付け方・はずし方

取り付け方



フタを開けた状態で、フタの穴部分にフタパッキンの凸部を差し込みます。

はずし方



フタを開けた状態で、手でつまんで外してください。

お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

本体内側のお手入れ

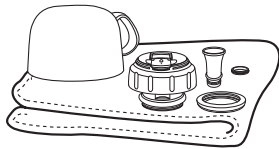
ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に
入れ30分間(目安)つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。

注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないでください。
本体の内圧が上がり、せんユニットが破損する恐れがあり危険です。
酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 本体は水中に放置
しないでください。

コップ・せんユニットのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って
汚れを落とし、十分乾燥させてから保管してください。
洗浄時にパッキンを外す場合は、パッキンの付け間違いの
ないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れ上の注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・せんユニット・コップは煮沸しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■本体は水中に放置しないでください。

本体と底の隙間に水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因になります。

■塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側には漂白剤を使用しないでください。

本体塗装・ロットシールなどの剥がれの原因になります。



警告

●乳幼児の手の届くところには置かないでください。ヤケドの原因となり危険です。

使用上の注意

●熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ず守ってください。

- 傾けた状態、または顔を近づけた状態でフタスイッチを押さないでください。飲みものが急激に出たり、飛散したりしてヤケドの原因になり危険です。
- 熱いものを入れた場合は直接飲まないで、必ずコップをご使用ください。飲み物が勢いよく出てヤケドの原因になります。

●せんユニットは必ず外してから飲みものを入れてください。

せんユニットを付けたまま熱い飲みものを入れると、飲みものが飛散してヤケドの原因になり危険です。

●せんユニットが確実に閉まっていることを確認してください。

閉めかたが不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。また、せんユニットは真っ直ぐに閉めてください。

●飲みものの保温・保冷以外に使用しないでください。

●ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

ヤケドや製品の変形、変色の原因になります。

●電子レンジでの加熱はしないでください。

火花が飛び危険です。

●冷凍庫には入れないでください。

●フタパッキン、注水口パッキン及びせんパッキンは正しく取り付け、確実に閉めてください。

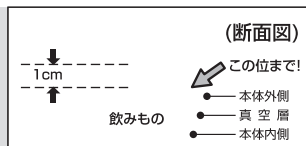
飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。せんユニット・パッキン類の取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。

●せんユニットを開閉するときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。

飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。

●飲みものの量は右記図の位置までにしてください。

入れすぎるとフタが開かなくなったり、せんユニットを閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。



●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。



使用上の注意

● 次のものは絶対に入れないでください。

■ **ドライアイス・炭酸飲料水**

内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあります。

■ **みそ汁・スープ・スポーツドリンクなど**

塩分を多く含んだもの

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分によりサビの原因になります。

■ **牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの**
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあります。

■ **お茶の葉・果肉**

すきまなどにつまり、漏れてヤケドやものを汚す原因になります。

● においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。

お手入れのしかたに従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

● 本体の口元に熱いヤカンなどをあてないでください。

口元の変形・キズ、転倒してヤケドなどの原因となり危険です。

● 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またせんユニットの破損原因になります。

● 改造・修理・分解は絶対にしないでください。

故障、事故の原因となり危険です。

● バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。

万一の漏れを防ぎます。

● パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。

● 運転中は危険ですので使用しないでください。

車内や衣服を汚したり、ヤケドの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。

● お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

■ 本体・せんユニット・コップは煮沸しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■ 食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

● ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。

お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となる恐れがあります。

困ったときのQ&A

Q 飲みものが漏れたときは？

- A**
1. せんユニット・フタがしっかり閉められているか確認してください。
 2. 飲みものを入れすぎていないか確認してください。
飲みものの量は適正な位置までにしてください。
 3. パッキン類が確実に取り付けられているか確認してください。
上下の方向を確認し、本体に正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。
- ※P5のパッキンの取り付け方を確認してください。

Q 本体内側が変色したときは？

- A**
1. 汚れが付着している場合、食器用洗剤をつけてスポンジなどでよく洗ってください。
 2. 斑点状の赤いサビが付着している場合
水に含まれる鉄分などが付着したものです。
食酢を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に柔らかいスポンジなどでよく洗ってください。
 3. ザラザラしたものが付着している場合
水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。
クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、せんユニットを取り付けず
に約3時間後に柔らかいスポンジなどでよく洗ってください。

Q 保温・保冷が効かないときは？

- A**
1. 熱い(冷たい)飲みものをいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
 2. 飲みものの量が少なくないか確認してください。
飲みものの量を多くすると効果的です。

Q 異臭がするときは？

- A**
- 本体内側、せんユニットに汚れが付着していないか確認してください。
ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。
また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

せんユニットのパッキン類は消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、
表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。

製品仕様

部品名		材料の種類
本体	本体内側	ステンレス鋼
	本体外側	ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装) ポリプロピレン
コップ		ポリプロピレン
せんユニット	せんユニット	ポリプロピレン
	フタスイッチ	ポリアセタール
	パッキン	シリコン

部品などのお問い合わせ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、当社お客様相談室までご連絡ください。

輸入発売元 株式会社 **ドウシシャ** www.doshisha.co.jp

お客様相談室

〒556-0023 大阪市浪速区稲荷1-6-25

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

- ※商品名、品番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。
- ※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

MADE IN CHINA

D110812